

市民主催イベントの評価は

活性化に有意義継続に期待

奥村良太議員(新栄会)

●平成24年の夏に市民が主体となり実施された京田辺カーニバルには、

たくさんの方が訪れられ、たいへん盛り上がりがあった。これは地元活性化につながったと思うが、市として、どのように考えるか。

経済環境部長 この夏は大変有意義なことだと思っている。このような催しは続けることがまちの活性化につながると考えるので、一過性で終わることのないよう、市民全体で盛り上げていただくことが大切と思う。

●既設農道の整備について。農道の幅員が狭く、陥没や舗装の荒れているところが多く、高齢者の農業、建築建材等に含まれる

業従事者が安心して通行できるように改善を望む。経済環境部長 通常は利用される受益者の方々に維持管理していただいている。その路線の受益者の総意として要望があり、小規模であれば材料支給で対応し、大規模であれば市単独農業基盤整備事業制度により地元施工に対し補助金を交付している。

●21世紀抗酸化プロジェクト。最近では、病院、学校、老人ホーム、カフェなど、



去年の夏京田辺カーニバルでの花火の打ち上げの様子

化学物質が人体に悪影響を与えるとされており、特にホルムアルデヒドを抑え、消臭効果、空気清浄化、酸化抑制ができる「S.O.D」の施工は、ふきつけ工事を行うだけでなく、この工法も含めて、より効果的な方法を研究していきたい。

総務部長 今後、施設の新築や改修時には、シックハウス対策の一環としてこの工法も含めて、より効果的な方法を研究していきたい。

奥西伊佐男議員(一新会)

太陽光発電普及の思いは 動向を見 促進に取り組む



屋上に設置された太陽光パネル

●太陽光発電の普及について見解を問う。近年、公共施設に民間企業が、行政との協働で事業に参

入し、無償で太陽光発電設備を設置し、売電により使用料を自治体に支払う「屋根貸し出し制度」が全国的に増加してきている。調査でも太陽光は最適の結果が出ている。本市として本腰を入れて

取り組むべきと考えるが、経済環境部長 環境負荷の軽減や循環型社会の形成には不可欠。その普及が重要な課題と受けとめている。市民の関心も高く、今後技術革新の動向を見ながら再生可能エ

ネルギーの普及促進に取り組んでいきたい。●普賢寺地域の活性化に向けた本市の見解及び今後の取り組みを問う。本市も高齢化が確実に進む中、抜本的に地域全体を見渡した施策の実施が重要かつ喫緊の課題。これら現状を受け止め、どのような活性化に向けた対策を講じていくのか。経済環境部長 農業・農村を取り巻く環境は依然厳しく、人口、担い手の減少、農地の維持も困難な状況。特に農業振興は重要な課題。特産物や引き続き既存事業を活用した振興対策に努め、関係団体とも連携して、具

体的に工夫を進むことになる。●市の取り組みで、関心ある事業の進捗状況について。●三木地区特定土地整理事業を進めてきた都市再生整備計画事業の検証結果は。●新名神高速道路の進捗と見通しについて。建設部長 ●過日の都市再生整備計画事業評価委員会の審議の結果、達成状況は妥当と判断いただいた。しかし、さらなる課題等にも解決する方策を検討していきたい。建設部技監 ●本市での用地取得率は約86%。平成24年度中にすべての工区を発注予定で、28年度完成・供用に向けて本格的に工事が進むことになる。

●「Die-gis」参加の起業家の育成を支援し、市内定着が図れる優遇措置制度を創設すべき。経済環境部長 入居に係る家賃補助や企業支援の専門家としてインキュベーションマネージャーの配置などの支援を実施してきたが、今後入居者の事業進捗を十分に把握しながら、成長段階に合わせた市内立地誘導施策を検討していきたい。●同志社大学に学ぶ留学生との交流を深め、彼らが暮らしやすく、また、外国人が本市を訪れやすい環境づくりを図るべきでは。市民部長 お茶や書道、料理や絵手紙などを通じ、留学生と市民との交流を積極的に進めることも、留学生を市内の家庭に招き入れるホームステイの募集も計画している。また、外国人が市内で暮らしやすくなるよう、英語版の生活ガイドブックを作成しているが、今後、中国語版や韓国語版も作成していく予定である。

学生の提言をまちづくりに 課題示し実効性高める

櫻井立志議員(公明党)

●「大学のあるまち」を生かした本市のまちづくり施策について、健康づくりやスポーツ振興に大学の知的資源を積極的に活用すべきでは。

保健福祉部長 京田辺市健康増進計画・食育推進計画策定など各種審議会の委員として協力を求め、貴重な意見をいただいている。今後も積極的に連携していきたい。教育部長 地域総合型スポーツクラブとして京たなべ・同志社スポーツクラブを設立し、本市のスポーツ振興に寄与している。今後も連携を強化し、取り組みを進めたい。

●本市で毎年開催されている「全国大学まちづくり政策フォーラム」で学生による素晴らしい提言がなされているが、積極的に活用すべきでは。



全国大学まちづくり政策フォーラムでの発表の様子

●「Die-gis」参加の起業家の育成を支援し、市内定着が図れる優遇措置制度を創設すべき。経済環境部長 入居に係る家賃補助や企業支援の専門家としてインキュベーションマネージャーの配置などの支援を実施してきたが、今後入居者の事業進捗を十分に把握しながら、成長段階に合わせた市内立地誘導施策を検討していきたい。●同志社大学に学ぶ留学生との交流を深め、彼らが暮らしやすく、また、外国人が本市を訪れやすい環境づくりを図るべきでは。市民部長 お茶や書道、料理や絵手紙などを通じ、留学生と市民との交流を積極的に進めることも、留学生を市内の家庭に招き入れるホームステイの募集も計画している。また、外国人が市内で暮らしやすくなるよう、英語版の生活ガイドブックを作成しているが、今後、中国語版や韓国語版も作成していく予定である。

委託弁当方式導入は 主要な方法となりつつある

上田 毅議員(無会派)

●京田辺市の犯罪増加の検挙・補導者は、ワースト1位。本市ではひ

たくり犯罪が多発している。フテッカー・ポスターの啓発を強化し、街灯や防犯カメラの台数も増やすべき。新潟は街灯をブルー系にし犯罪が減少した。更に警察の非行防止教室を学校で実施し、地域・行政・警察との連携で、減少するのでは。安心まちづくり室長 状況を踏まえ防犯灯・防犯カメラを計画的設置し防犯力の強化に努める。●中学校の給食問題について。給食の必要性や

持参弁当の重要性を感じる人はあるが、ひとり親をかけることはない。当持参のみでは困難である。委託弁当選択方式の導入を直ちに進めたい。導入済みの中学の給食費は月3000円位である。社会的状況も考えられた。●教育長 検討委員会は委託弁当が主要な方法であると、ほぼ固まっているだろう。●公用車の入札制度の内容について。現在の制度では、企業が赤字で落札しなければならぬ状態である。通常の車検費用と大幅に差があるが公用車は特別権限があるのか。0円入札となっている。



すでに実施されている他市中学校の委託弁当メニューの例